

「ハマる、ハチノヘ。」
ツーリズム・シティプロモーション
特別委員会

日時：令和 7 年 6 月 13 日（金）
午前 10 時
場所：第 2 委員会室

○ 議 題

【広報統計課】

- 1 ふるさと納税の現状と課題について
- 2 超帰省応援事業について

【観光課】

- 3 「ハマる、ハチノヘ。」観光振興プランについて
- 4 主要観光入込客数及び宿泊者数について
- 5 令和 6 年度インバウンドに関する事業実績について

ふるさと納税の現状と課題について

1. ふるさと納税制度の概要

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄附（ふるさと納税）を行った場合に、寄附額のうち 2,000 円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度。八戸市では「ふるさと寄附金 PR 事業」という名称で取り組んでいる。

2. 一般的なふるさと納税の流れ

①応援する自治体を決定

②自治体に直接、またはふるさと納税サイトからふるさと納税を実施

③返礼品の受領

④確定申告を実施

⑤所得税、住民税からの控除

④⑤は寄附した自治体への申請により手続きが不要となるワンストップ特例制度があります（条件あり）

3. 制度の変遷

2008 年 事業スタート

2015 年 控除額の増加、ワンストップ特例（確定申告不要の制度）開始

2019年 「ふるさと納税指定制度」開始

制度の主な内容

- ・返礼品は寄附金額の3割以下の地場産品とする
- ・返礼品を含む募集費用は5割以下とする
- ・返礼品の地場産品基準を定める など

2023年 ふるさと納税の経費に該当する項目の拡大（新5割ルール開始）

4. 交付税措置について

八戸市民が他自治体に行ったふるさと納税（市町村民税控除額）について、その 75% を交付税で措置

令和5年度	①市町村民税控除額（推計値）	約 3 億円
	②交付税措置額（①×75%）	約 2 億2,500万円

5 ふるさと寄附金の現状

（1）令和6年度実績

3月末	
181,774,024円	（前年度同月比 <u>+14.2%</u> ）
8,079件	（前年度同月比 <u>+ 5.8%</u> ）

(2) 過去実績

年度	個人		法人・団体		計		前年度比
R1	1,395件	26,403,599円	14件	4,719,047円	1,409件	31,122,646円	- 78.2%
R2	3,492件	59,559,219円	10件	5,046,893円	3,502件	64,606,112円	+107.6%
R3	6,551件	119,044,800円	8件	4,075,114円	6,559件	123,119,994円	+ 90.6%
R4	7,337件	138,335,750円	11件	4,413,238円	7,348件	142,748,988円	+ 15.9%
R5	7,738件	154,923,500円	11件	4,298,841円	7,749件	159,222,341円	+ 11.5%
全国※		R4：965,406千円 ⇒ R5：1,117,500千円					+ 15.8%

※出典：総務省公表「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和6年度実施）」

(3) 県内順位（令和5年度実績）

順位	自治体名	金額(千円)	件数(件)	順位	自治体名	金額(千円)	件数(件)
1	弘前市	1,337,030	94,009	6	平川市	302,080	20,071
2	青森市	1,071,789	80,759	7	鰯ヶ沢町	287,094	15,989
3	五所川原市	1,010,171	51,039	8	三戸町	282,789	20,031
4	黒石市	462,742	38,819	9	藤崎町	246,014	23,166
5	南部町	431,225	29,256	10	板柳町	193,426	13,430
全国平均		625,000	32,967				
12	八戸市	154,924	7,755				

出典：総務省公表「ふるさと納税に関する現況調査結果（令和6年度実施）」

6 令和7年度の主な取組内容について

(1) 返礼品の充実

- ・水産加工品や体験メニューも含め、八戸らしい返礼品を更に充実させる。

(2) 現地決済型で返礼品と交換できるクーポン・ポイント等の導入

- ・体験メニューを含めた直接の来訪に結び付く返礼品の充実や、来訪時の寄附機会の創出の一環として、現地決済型ふるさと納税の導入に向けて進める。

(3) クラウドファンディング型の活用

- ・個別具体的にPRしたい事業にはクラウドファンディング型を活用する。

超帰省応援事業について

1 目的

八戸市への「超帰省」により、八戸市出身者等が友人に八戸市を紹介することで地元への愛着や親しみを再醸成し、八戸市に馴染みのない方も友人を介して八戸市を知る・体感することができる。また、市が「超帰省」を促進・応援することで、八戸市の周知やイメージアップ、新たな関係人口の創出を図ることができる。令和7年度は当事業本格稼働のためのトライアルを行う。

※超帰省とは…友人や同僚を連れて地元へ帰省したり、友人等の帰省についていたりすること。友人の地元を自分の地元のように楽しむ体験のこと。

2 事業内容

メインターゲットを八戸市出身者(市外在住の大学生または24歳以下市外在住)とその市外出身の友人等とし、次の事業を行う。

(1) クーポン事業「はちのへ超帰省クーポン」

目的 超帰省した利用者に、八戸市でより多くの体験をすることで八戸市を知っていただき、楽しんでいただくこと

①優待クーポンプレゼント

友人や同僚を連れて帰省した八戸市出身者または市と何らかのつながりがある市外出身者へ、市内事業者の優待クーポンをプレゼントする。

※若者に限らず全世代で利用可。

※市とのつながりとは、旅行で訪れたことがある、仕事で関わりがある、知人の出身地である、家族や親戚がいるなど

(ア) クーポン発行方法

電子クーポンと紙クーポン(1回おためしクーポン)を発行

発行方法	入手方法	使用可能回数
電子クーポン	電子申請・届出システムより申請。 1週間程度で氏名・ID・有効期間が明記された電子クーポンがメールにて届く。	1店舗につき1回で 計6回
紙クーポン (1回おためしクーポン)	申請は不要。 市内の高校・専門学校・大学を卒業する方へ3月頃に配布。 また、八戸特派大使の名刺の裏に印刷し配布。	6店舗のいずれか1回

(2) 超帰省お試し旅

超帰省応援事業がメインターゲットである「24 歳以下の市外在住の若者」に、より効果的に訴求できるよう、「私のすすめる八戸旅」をテーマに、次の内容を含めた「お試し旅」を実施する。

- ・超帰省応援事業におけるクーポンコンテンツを1つ以上含めること。
- ・ディスカッションの時間を設け、意見交換を行うこと。
- ・市に所属するカメラマンも同伴できるものとする。

①ターゲット

24 歳以下の市外在住の若者

②事業者の選定方法

公募型プロポーザル方式により選定し、上位3者と委託契約を締結

③契約期間

契約締結日（令和7年6月）～令和7年10月31日

④予算

委託事業者選定における外部審査員への報償費（2名分） 17,600 円

超帰省お試し旅企画実施委託料 1,200,000 円

※1事業者あたり400,000円以内を想定

⑤委託業務の内容

委託業務はプランの企画、参加者の募集・決定とし、これらに係る経費は、委託費用にすべて含むものとする。

E	株式会社 ACプロモート	ワーフ タネチ WHARF TANECHI	定休日 不定休	営業時間 9:30～16:30
	info@acpromote.jp 【プラン名】【利用日】【参加人数】【参加者全員の氏名】を記載の上、メールにてお申し込みください。BBQプランをお申し込みの方は【希望利用時間】も記載ください。 〒031-0841 八戸市鮫町字棚久保14-112 【種差海岸キャンプ場】 〒031-0841 八戸市鮫町赤コウ55-4			

※クーポン1枚につき6名まで利用可能 ※天候によっては実施できない場合もございます

① 贅沢ソロキャンプ in 種差海岸キャンプ場 数量限定 おひとり様1回まで

海を見たくなったら、大自然に身をゆだねたくなったら、夕陽を見たくなったら。種差海岸で何もしない贅沢をお過ごしください。1泊2食付き、テント一式設営済み、寝具等設置済み、BBQ台、炭、焚火台、薪、エアベッド、布団、テーブル、チェア、タオル、アメニティ、食器など完備。[クーポン利用除外期間] 8月9日(土)～8月17日(日)

※数量限定の「①贅沢ソロキャンプ」は同行者含め、おひとり様1回までのご利用となります。2回目以降ご利用の場合は、通常料金でのご案内となります。

通常料金 先着10名まで (1名様)17,600円 ⇒ **5,500円 12,100円引き!**
 先着11～30名まで (1名様)17,600円 ⇒ **11,500円 6,100円引き!**

◎1テント2-3名でご利用いただきます(6名利用の場合、2～3テントをご用意します)

② 食材持ち込みBBQ in WHARF TANECHI

【WHARF TANECHI】でBBQを楽しもう!用意するものは飲み物と食材だけ! BBQに必要な機材はこちらでご用意しますので、手ぶらでお楽しみいただけます!

通常料金 (1名様)1,500円 ⇒ **500円 1,000円引き!**



F	山の楽校		休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は営業、翌日休館日)
	☎0178-82-2222 〒031-0202 八戸市南郷大字島守字北ノ畑6-2		営業時間 8:00～17:00

① そば打ち体験 南郷産そば粉を使用し、3食分のそばを作ります。打ったそばはその場でいただくことができます。

通常料金 (1名様)1,600円 ⇒ **1,400円 200円引き!**



② てんぽせんべい体験 パリパリした食感の南部せんべいとは一味違う、柔らかくてもっちりとした食感が魅力の「てんぽせんべい」を作ります。

通常料金 (1名様)200円 ⇒ **150円 50円引き!**

③ そば打ち・てんぽせんべい体験セット

通常料金 (1名様)1,800円 ⇒ **1,500円 300円引き!**



【超帰省とは】友だちを連れて地元へ帰省すること。一般的な帰省ではなく、観光でも旅でもない、友人を介して地元を楽しむ体験を「超帰省」といいます。

友だちも一緒に帰っておいで!!

〈対象となる帰省期間〉
 2025年4月1日(火) ↓ 2026年3月31日(火)



八戸のアクティビティや宿泊を友だちとお得に体験できる

クーポン 配布中!

超帰省するたびに申請いただけます!

※最小催行人数2名以上(同行者のうち、1名以上が八戸市外出身者であることが条件です)
 ※クーポン利用可能期間は「八戸市へ来る日」を含めた30日以内になります。
 ※クーポンは各店舗1回ずつ使えます。(数量限定のサービスを除く)

申請受付は 2025年4月1日(火) から

利用の流れ

- ① クーポン申請フォームへアクセスし、必要事項を入力。
- ② 市から承認通知と「はちのへ超帰省クーポン」がメールで届きます。
- ③ 体験したい店舗を予約。(クーポンを使用する旨をお伝えください。)
- ④ 当日、クーポンを店舗スタッフにご提示ください。

申請からクーポンの発行までは1週間程度かかります。
 お急ぎの方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。



くわしくはコチラからも
 ご覧いただけます。(市HP)

クーポン申請フォーム



お問い合わせ

青森県 八戸市 シティプロモーション推進室

☎0178-43-2319 📠0178-47-1485 ✉8pro@city.hachinohe.aomori.jp

A

アウトドアボックス
OUTDOORBOX RIVERRUNS

リバーランズ

☎0178-20-0234

✉riverruns@ymail.ne.jp

〒031-0841 八戸市鮫町字鮫75-5



定休日

4月～6月、10月～11月 火曜日
12～3月 月・火曜日(土日が休業の場合あり)
7～9月 不定休

営業時間

12～3月 10:00～18:00
4月～11月 10:00～19:00

※利用日の2日前までの予約が必要です。 ※天候によっては実施できない場合もございます。

① アクティビティ体験・超帰省割！ (シーカヤック・SUP・トレッキング)

海から拓けた街・八戸で、海を体感するアクティビティ体験(シーカヤック・SUP・トレッキング)ができます。初めての方でもガイドインストラクターがレクチャーするので、安心して楽しんでいただけます！

通常料金 シーカヤック【半日】(1名様)7,000円 ⇒ **5,600円**SUP【半日】 (1名様)7,000円 ⇒ **5,600円**みちのく潮風トレイルトレッキング～2時間 (1名様)5,000円 ⇒ **4,000円**その他のプログラムもすべて **20% OFF**

② みんなでワイワイ! ゲストハウス・超帰省割！

海まで歩いて5分! 当店2階のゲストハウスの宿泊プランです。4名までのグループでの1棟(1フロア)貸切。シャワー・冷蔵庫・エアコン・ウォーターサーバー・65インチモニターを完備。

通常料金 (4名様)26,400円 ⇒ **21,120円 20% OFF**最大6名まで宿泊可能。4名まではベット、ほか2名は雑魚寝(寝袋等)となります。
5人以上となった場合の追加料金は一人3300円となります。

割引内容

B

浜市場 みなととと



☎0178-33-3311 (本部)

☎0178-38-3741 (店舗)

〒031-0812八戸市湊町字大沢35-1

定休日

水曜日、年末年始(12/31～1/4)
漁師食堂「鮮八」→火・水曜日、年末年始(12/31～1/4)

営業時間

【4月～12月】月～土 10:00～16:00 日 7:30～16:00
【1月～3月】月～金 10:00～15:00 土日祝 10:00～16:00
漁師食堂「鮮八」10:00～14:00(L.O.13:30)

※毎月1回の開催となりますので、事前にご確認ください。

握り寿司教室

職人から直接握り寿司の作り方を学び、魚の捌き方の見学、本格的な刺身包丁での切り付けなどの体験もしていただけます。

通常料金 (1名様)4,000円 ⇒ **3,500円**
500円引き!

割引内容

C

八戸酒造 株式会社

☎0178-20-0443

〒031-0812 八戸市大字湊町字本町9番地



見学可能期間

月～金曜日(冬期間は土曜日も営業)
臨時休業あり

営業時間

10:00～16:00



割引内容

酒蔵見学(試飲付き)

通常料金 (1名様)500円 ⇒ **0円**20歳以上
対象

無料!

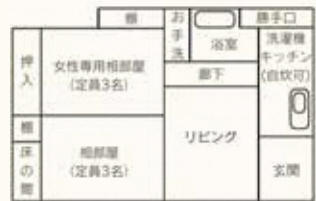
酒造りの現場や工程を紹介してもらい蔵見学ができ、蔵見学の後には日本酒の試飲ができます。八戸酒造の歴史や日本酒の文化をより身近に感じていただくことができます。

D

八戸ゲストハウス トセノイエ

〒031-0003 八戸市吹上3丁目9-49

✉hachinohe.gh.tosenoie.2022@gmail.com



※利用希望日の1週間前までにメールでお問い合わせください。

1棟貸しゲストハウス「トセノイエ」で 八戸を暮らすように旅する!

① トセノイエ宿泊モニター(限定3組) **数量限定 おひとり様1回まで**
1棟貸しゲストハウス「トセノイエ」に無料でご宿泊いただけます。通常料金 (1棟貸切1泊) 20,000円 ⇒ **0円 無料!**

※レビューの記載等にご協力いただきます

※最大4名様まで宿泊可能

※祝日以外の月～木の宿泊限定(2025/4/26～5/6、7/19～8/17、12/27～2026/1/4は対象外)

※数量限定の「①トセノイエ宿泊モニター」は同行者含め、おひとり様1回までのご利用となります。
2回目以降ご利用の場合は、通常料金でのご案内となります。

② 横丁飲み歩きツアー(最大3時間)

八戸をこよなく愛するトセノイエスタッフのガイドと巡る、
八戸市中心街の横丁飲み歩きツアーです。通常料金 (1グループ 5名様まで)10,000円 ⇒ **9,000円**

※料金に含まれるもの:ガイド料金

※料金に含まれないもの:ガイド含む参加者の各店での飲食費

※トセノイエ宿泊者以外でもご利用いただけます

20歳以上
対象**1,000円引き!**

③ 「喫茶へバナ」で地域交流モーニング

旧片町朝市のエリアに残る朝限定の「喫茶へバナ」。

地元の方々とおしゃべりを楽しみながら、朝食をお楽しみいただけます。

【営業時間】6:30～8:30 【定休日】月曜日・火曜日

通常料金 (1名様)1,300円 ⇒ **1,000円 300円引き!**

※トセノイエ宿泊者以外でもご利用いただけます



「ハマる、ハチノヘ。」観光振興プランについて

1 プラン策定の趣旨

少子高齢化による人口減少が進む中、観光による消費は地方産業の活性化に寄与し、国内外との交流人口の拡大が地域活性化の鍵となっています。

アフターコロナの旅行スタイルの変化やインバウンドの増加などにより観光のトレンドやニーズが変化する中、持続可能で質の高い観光を実現するため、当市および官民連携による観光施策の基本的な取組方針を定め、観光を産業として地域に根づかせ、八戸市の観光再生と積極的に選ばれる都市を目指すことを目的としています。

2 計画の期間

令和7年度から令和11年度までの5年間

3 将来像

「ハマる、ハチノヘ。」 ～ふれる旅から、ふれあう旅へ。～

「ハマる、ハチノヘ。」は、訪れる人も迎える人も皆が、八戸を知るほど、訪ねるほど、そこにある日常に溶け込むほど、どんどんその奥深さにはまり、多くの方にリピーターになってもらえるような八戸の旅を目指していくことを表しています。

「～ふれる旅から、ふれあう旅へ～」は、観光地における楽しみ方は一方通行になりがちですが、八戸では旅の時間に地元の人がきちんと介在し、一方的に何かにつれるだけでは得られない、交流してこそその新しい体験・発見がある旅を目指していくという思いが込められています。

4 基本方針と数値目標

基本方針1：地域の事業者が稼ぐ観光を目指し、観光消費額を拡大する

【数値目標】観光消費額の拡大

①入込客数（施設）令和5年：5,611,849人→令和11年：6,173,000人（1割増）

②観光消費額（観光及びビジネス）令和5年：1,359億円→令和11年：1,494億円（1割増）

※国の「観光入込客統計に関する共通基準」を参考に算出した推計値

○参考指標

①観光消費額のうち観光目的のみ 令和5年：687億円

②平均旅行消費額 令和5年度：26,442円（宿泊者の平均消費額）

※VISITはちのへエリア観光アンケート

基本方針 2：持続可能な観光を確立し、地域経済の活性化、環境保護、地域文化の保存と継承を進める

【数値目標】

日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）に沿って取組を進め、「持続可能な観光地 100 選」の選出を目指す。

基本方針 3：観光振興による市民の幸福度の向上

【数値目標】 市民アンケートにおける「観光地域づくりの推進」の満足度

令和 5 年度 37.6% → 令和 11 年度までに 45%

○参考指標①来訪者を対象としたアンケートにおける来訪者満足率

5 施策の中で優先的に取り組む三本柱

（１）食のまち・八戸の推進

「ここでしか味わえない食体験」を提供することで、食を通じた八戸の旅の満足度を高めるとともに、「地産地消」の推進により地域経済の活性化を図る。

- ①食を通じた八戸への誘客と旅の満足度を高める
- ②当市の水産・畜産等と観光を融合させ新たな観光を創造する
- ③食べに行きたくなるまちの仕掛け
- ④地元特産品の認知度向上と販売促進

（２）種差海岸の魅力向上

自然の活用と守るべき価値の保存との両立の推進

- ①「種差海岸」の豊かな自然の活用と守るべき価値の保存
- ②民間投資を呼びこむエリアの設定
- ③文人墨客に愛された独自の魅力や歴史を活かしたブランディング
- ④みちのく潮風トレイルのスタート地点としてのブランド価値の向上と八戸十和田トレイルと連動させた PR

（３）インバウンド対応の充実

観光客だけでなくスポーツ大会や合宿も含めた集客と受入環境の整備を進めていく

- ①ターゲット、情報発信方法の精査
- ②連携によるプロモーション強化
- ③受入環境の整備
- ④訪日客の現状やニーズを詳細に把握する（アンケートの強化等）

6 推進体制等

- （１）八戸市観光振興審議会において、本プランの取組状況や数値目標の達成状況等の確認、評価・検証を行う。
- （２）施策を進めていくため、令和 7 年 9 月中を目途に具体的な取組等を示したアクションプランを作成し、計画を実現するための行動計画を示す。
- （３）アクションプランの実行にあたっては、施策ごとにターゲットを明確にしながら推進していく。

【参考１：日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の取組項目】

A: 持続可能なマネジメント	B: 社会経済のサステナビリティ	C: 文化的サステナビリティ	D: 環境のサステナビリティ
A1. デスティネーション・マネジメント(観光地経営) 戦略と実行計画 A2. デスティネーション・マネジメント(観光地経営)の責任 A3. モニタリングと結果の公表 A4. 観光による負荷軽減のための財源 A5. 事業者における持続可能な観光への理解促進 A6. 住民参加と意見聴取 A7. 住民意見の調査 A8. 観光教育 A9. 旅行者意見の調査 A10. プロモーションと情報 A11. 旅行者の数と活動の管理 A12. 計画に関する規制と開発管理 A13. 適切な民泊運営 A14. 気候変動への適応 A15. 危機管理 A16. 感染症対策	B1. 観光による経済効果の測定 B2. ディーセント・ワークと雇用機会 B3. 地域事業者の支援と公正な取引 B4. コミュニティへの支援 B5. 搾取や差別の防止 B6. 地権と使用権利 B7. 安全と治安 B8. 多様な受入環境整備	C1. 文化遺産の保護 C2. 有形文化遺産 C3. 無形文化遺産 C4. 地域住民のアクセス権 C5. 知的財産 C6. 文化遺産における旅行者の管理 C7. 文化遺産における旅行者のふるまい C8. 観光資源の解説	D1. 自然遺産 D2. 自然遺産における旅行者の管理 D3. 自然遺産における旅行者のふるまい D4. 生態系の維持 D5. 野生生物の保護 D6. 動物福祉 D7. 省エネルギー D8. 水資源の管理 D9. 水質 D10. 排水 D11. 廃棄物 D12. 温室効果ガスの排出と気候変動の緩和 D13. 環境負荷の小さい交通 D14. 光害 D15. 騒音

ハマる、ハチノへ。 ～ふれる旅から、ふれあう旅へ。～

せっかく八戸を選んで旅してくれる人がいるのなら、
よくある名所や名物にふれてもらうだけじゃもったいない。
日常そのものが観光資源になっているのが八戸らしさ。
訪れる人を八戸の日常の内側に連れ出せば、
思いがけない出会いや発見をプレゼントできるかもしれない。
地元の人が集まるお店や場所では、
八戸人も観光客も関係なく会話に花を咲かせてみたり。
実はその時間がいちばんの旅の思い出になるかもしれない。
そう、心通わすふれあいこそを八戸の旅の醍醐味に。
訪れる人は、八戸の世界観を知れば知るほどとりこになって、
迎える私たちは、もっともっと知られざる地元を紹介したくなる。
そうやって、お互いがハマる八戸ならではの旅を、
いっしょにつくって、届けて、みんなで楽しみましょう。
誰にでも、そのためにできることはきっとある。
たとえばおいしい味覚がずらりと揃う自慢の浜では
どっぷり “浜ル” 体験を一人ひとりへ。
大自然だったり、文化や歴史が息づく場所だったり、
訪ねてほしい八戸をまるっと紹介することだって◎。
食べる、観る、遊ぶ、そしていっぱい人とふれあう。
すべてにハマるこれからの八戸ツーリズムを、みんなの力で。

主要観光入込客数及び宿泊者数について

1 主要観光地点入込客数

○傾向

5か所の主要観光地点のうち4か所で、前年度を上回る観光入込数となった。
全国的に、インバウンドは依然として全国的に好調であり、青森県の外国人延べ宿泊者数は令和元年比で22%増加、令和5年比では64%増加した。
日本人国内旅行者の動向は物価高騰などの影響を受けて控えめとなり、令和元年比で8.2%減少、令和5年比で8.4%増加と推移した。

【はっちについて】令和元年度の観光入込客数の水準には未だ回復していないものの、青森県内の主要美術館・文化施設が連携して開催された「AOMORI GOKAN アートフェス2024」への参加や、八戸市中心街で行われる各種イベントとの連携により、施設内外での催しを充実させたことで、前年度を上回った。

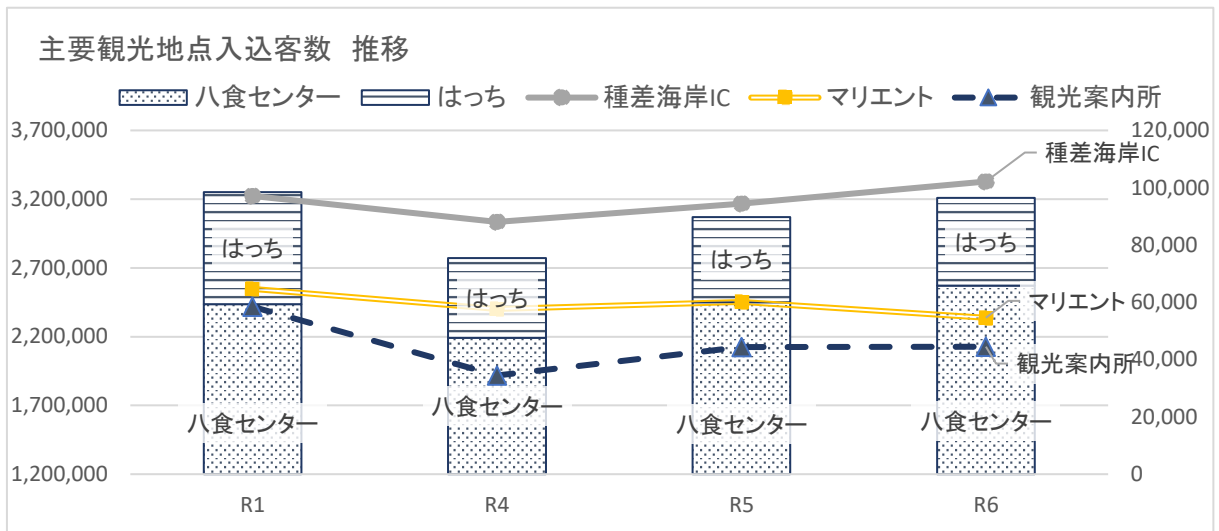
【観光案内所について】令和元年度の観光入込客数の水準には回復していないが、令和5年(※)八戸駅の新幹線乗車人員数が令和元年比約89%となっており、駅の利用者数自体が十分に回復していないことが一因として考えられる。

なお、令和4年12月に案内所が八戸駅東口2階エスカレーター横から新幹線改札口前へ移転した。

※令和6年は未公表

○推移

主要地点 施設名	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計	
		客数	R1年度比	客数	R1年度比	客数	R1年度比
八食 センター	R1	1,376,986	—	1,058,611	—	2,435,597	—
	R4	1,127,340	81.9%	1,063,842	100.5%	2,191,182	90.0%
	R5	1,299,858	94.4%	1,150,185	108.7%	2,450,043	100.6%
	R6	1,372,681	99.7%	1,198,770	113.2%	2,571,451	105.6%
はっち	R1	436,537	—	379,017	—	815,554	—
	R4	277,303	63.5%	302,136	79.7%	579,439	71.0%
	R5	315,685	72.3%	304,266	80.3%	619,951	76.0%
	R6	327,984	75.1%	309,014	81.5%	636,998	78.1%
種差海岸イン フォメーション センター	R1	72,266	—	24,804	—	97,070	—
	R4	58,081	80.4%	29,975	120.8%	88,056	90.7%
	R5	69,177	95.7%	25,310	102.0%	94,487	97.3%
	R6	71,776	99.3%	30,379	122.5%	102,155	105.2%
マリエント	R1	42,967	—	21,708	—	64,675	—
	R4	35,395	82.4%	22,277	102.6%	57,672	89.2%
	R5	37,331	86.9%	22,796	105.0%	60,127	93.0%
	R6	33,958	79.0%	20,635	95.1%	54,593	84.4%
観光 案内所	R1	31,941	—	26,501	—	58,442	—
	R4	16,785	52.6%	17,666	66.7%	34,451	58.9%
	R5	24,469	76.6%	19,851	74.9%	44,320	75.8%
	R6	23,817	74.6%	20,693	78.1%	44,510	76.2%
5地点合計	R1	1,960,697	—	1,510,641	—	3,471,338	—
	R4	1,514,904	77.3%	1,435,896	95.1%	2,950,800	85.0%
	R5	1,746,520	89.1%	1,522,408	100.8%	3,268,928	94.2%
	R6	1,830,216	93.3%	1,579,491	104.6%	3,409,707	98.2%



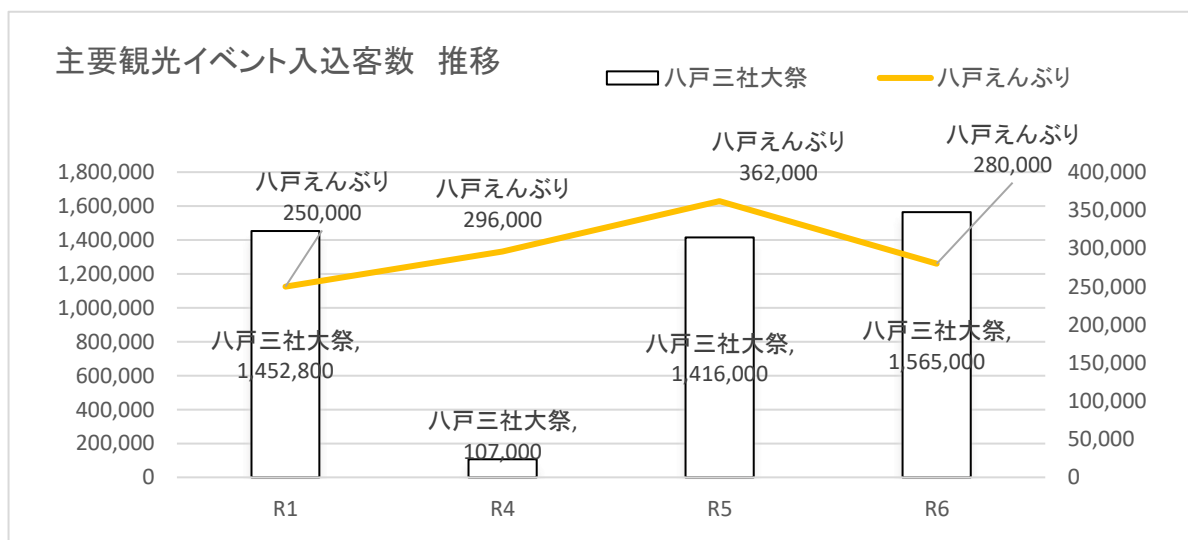
2 主要観光イベント入込客数

○傾向

八戸三社大祭は、後夜祭を1時間延長するなどの取組により、令和元年度及び令和5年度を上回る入込数となった。一方、八戸えんぶりは平日開催となり、観覧しやすい週末を含まなかったこと、また期間中は、気温が低く降雪があったことも影響し、昨年度の入込数を下回った。

○推移

イベント名	年度	客数	R1年度比	開催日	備考
八戸三社大祭	R1	1,452,800	－	R1.7.31水-R1.8.4日	
	R4	107,000	7.4%	R4.7.31日-R4.8.4木	内容を縮小・変更のうえ開催
	R5	1,416,000	97.5%	R5.7.31月-R5.8.4金	通常開催実施
	R6	1,565,000	107.7%	R6.7.31水-R6.8.4日	後夜祭1時間延長
八戸えんぶり	R1	250,000	－	R2.2.17月-R2.2.20木	
	R4	296,000	118.4%	R5.2.17金-R5.2.20月	5/1代替イベント8,000人
	R5	362,000	144.8%	R6.2.17土-R6.2.20火	通常開催実施
	R6	280,000	112.0%	R7.2.17月-R7.2.20木	



3 宿泊者数(VISITはちのへ調べ)

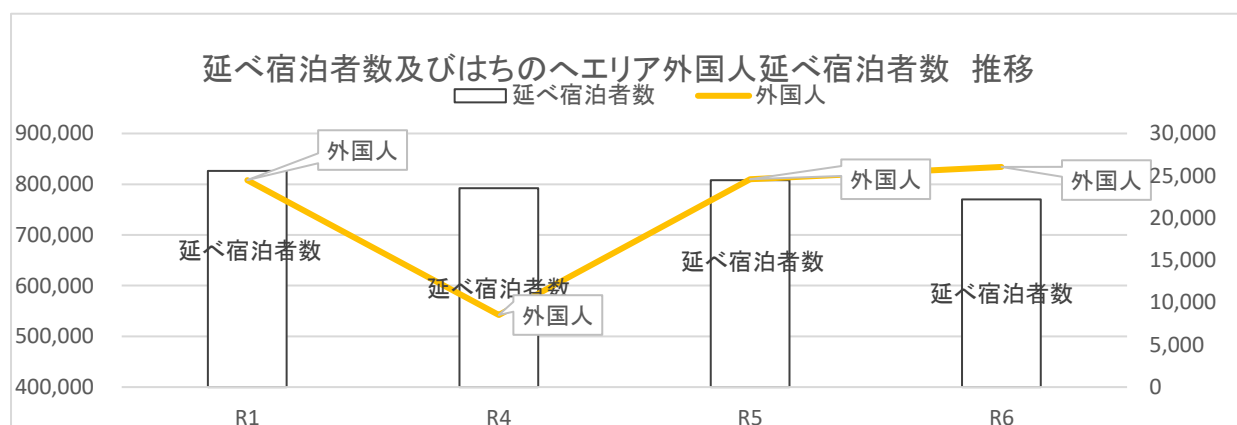
○傾向

令和6年度の延べ宿泊者数は、令和元年度比93%、令和5年度比でも95%と減少した。減少した要因として、宿泊実績の集計対象施設数が減少したことに加え、令和5年度はスピードスケートの国際大会等が複数開催されたことから、宿泊需要が一時的に高まったため、令和6年度の延べ宿泊者数は前年度を下回ったと考えられる。またインバウンドの傾向として、全国的には中国・台湾からの入込数が多いが、八戸エリアでは三沢市の米軍基地の影響とみられるアメリカからの宿泊者が最も多い傾向が続いている。さらに、フィリピンからの訪日者数も顕著に増加(令和元年度比10倍以上)している。

○推移

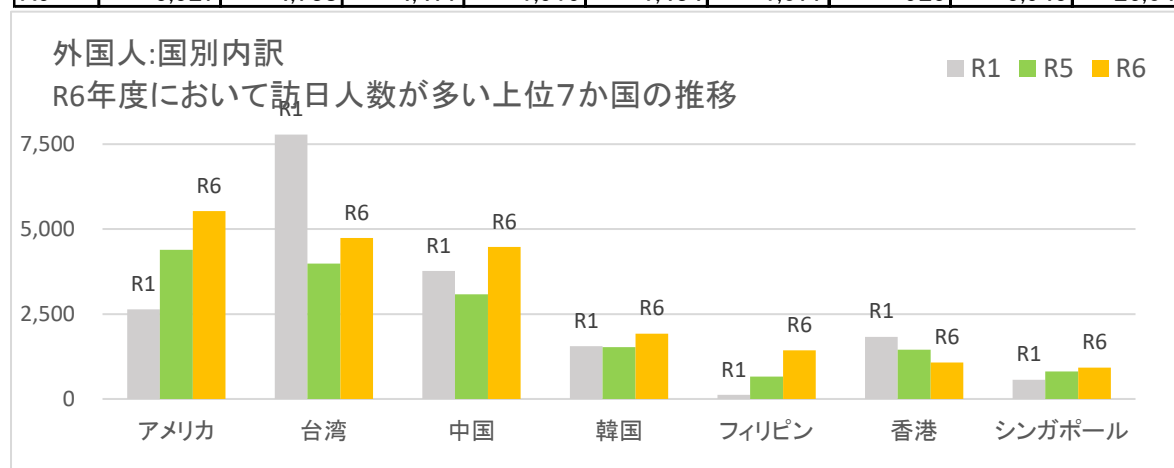
(単位:人泊)

	年度	上半期(4月～9月)合計		下半期(10月～3月)合計		合計		集計対象施設数
		客数	R1年度比	客数	R1年度比	客数	R1年度比	
延べ宿泊者数	R1	458,407	—	368,032	—	826,439	—	26施設
	R4	409,801	89.4%	382,124	103.8%	791,925	95.8%	22施設
	R5	447,065	97.5%	360,655	98.0%	807,720	97.7%	22→23施設
	R6	438,328	95.6%	331,413	90.1%	769,741	93.1%	23施設→20施設
はちのへ エリア外国 人延べ宿 泊者数	R1	14,652	—	9,839	—	24,491	—	
	R4	2,554	17.4%	5,974	60.7%	8,528	34.8%	
	R5	13,907	94.9%	10,679	108.5%	24,586	100.4%	
	R6	14,799	101.0%	11,243	114.3%	26,042	106.3%	



○外国人国別内訳 ※令和6年度において訪日人数が多い上位7か国

年度	アメリカ	台湾	中国	韓国	フィリピン	香港	シンガポール	その他	合計
R1	2,638	7,781	3,770	1,554	118	1,831	564	6,235	24,491
R4	2,599	279	799	594	98	293	183	3,683	8,528
R5	4,389	3,983	3,083	1,525	657	1,454	811	8,684	24,586
R6	5,527	4,738	4,477	1,919	1,434	1,077	925	5,945	26,042



4 観光関連イベントについて

(1) みちのく潮風トレイルウォークin八戸について

- 【 日 程 】 令和7年7月6日(日)
 【 場 所 】 青森県八戸市(蕪島～葦毛崎～種差天然芝生地)
 【 主 催 】 環境省、みちのく潮風トレイルウォーク実行委員会
 【 後 援 】 青森県、八戸市 ほか
 【 内 容 】 トレイルウォーキング(約5km及び約8kmコース)
 【 参加者 】 約600名
 ※八戸市以外に、名取市(5/25)、相馬市(6/8)、陸前高田市(10/5)で開催
 ※写真は昨年度の様子



(2) 令和7年度八戸三社大祭について

- 【 主 催 】 八戸三社大祭運営委員会
 【 日 程 】 令和7年7月31日(木)～令和7年8月4日(月)

期日	内容	開催時間	開催場所
7月31日(木)	前夜祭・山車展示	18:00～21:00	市庁別館前市民広場及び中心街
8月1日(金)	出発式	13:30	おがみ神社
	神社・山車合同運行(お通り)	15:00～19:00頃	市庁前出発・中心街
8月2日(土)	長者山新羅神社例祭 献幣使参向	11:00～	長者山新羅神社
	おがみ神社中日例祭	13:00～14:00	おがみ神社
	加賀美流騎馬打毬、徒打毬	14:00～16:00	長者山新羅神社
	夜間山車運行	18:00～21:00頃	三日町(番町側)出発・中心街
	おまつり広場 (八戸青年会議所)	11:00～21:00	市庁本館前市民広場
8月3日(日)	神社・山車合同運行(お還り)	15:00～19:00頃	鍛冶町出発・中心街
	おまつり広場 (八戸青年会議所)	11:00～21:00	市庁本館前市民広場
8月4日(月)	後夜祭・山車展示	18:00～21:00	市庁別館前市民広場及び中心街
	おまつり広場 (八戸青年会議所)	11:00～21:00	市庁本館前市民広場

(3) 第45回八戸花火大会について

- 【 名 称 】 一般社団法人八戸青年会議所スローガン「ラブはちのへ」誕生50周年記念
 第45回八戸花火大会
 【 主 催 】 八戸花火大会実行委員会
 【 日 時 】 令和7年8月17日(日)午後7時～ ※順延日 令和7年8月24日(日)
 【 場 所 】 館鼻漁港

一緒に歩こう!



みちのく潮風 トレイルウォーク



ハル

2025年
7月6日
9:30開会式 10:00スタート
※小雨実施

ウォーキングイベント開催!

青森県から福島県をつなぐ約1000キロの長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」。その一部を歩くウォークイベントを八戸市で開催します。当日はピカチュウがやってきます!



ゲスト
参加決定!

短距離コース 約5km



スタート
葦毛崎展望台

ゴール
種差海岸インフォメーションセンター

長距離コース 約8km



スタート
葦毛崎展望台

ゴール
種差海岸インフォメーションセンター

定員 短距離コース・長距離コースあわせて250名程度
※子ども(小学生以下)1~3名につき成人1名、子ども4~5名につき成人2名の同伴が必要です

当日受付 蕪島海浜公園 9:00~10:00 (9:30開会式)

参加料 1000円(税込、イベント用の傷害保険料を含む)

無料臨時バス ※詳細は公式ホームページへ

臨時駐車場
JR本八戸駅

種差海岸インフォメーションセンター
臨時駐車場
蕪島海浜公園

※自家用車でお越しになる方は、臨時駐車場「第二青潮小学校用地(=八戸市湊高台4丁目14 約200台 無料)」をご利用ください。 ※当日の運行状況は予定です。変更になる場合があります。 ※臨時バスは先着順で、混雑状況によってはお乗りいただけない場合があります。公共交通機関もあわせてご利用ください。 ※参加申し込み時に、ご来場方法のアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

注意事項
●発熱やせきなどの症状がある方や体調不良の方は、参加をご遠慮ください。 ●イベントの様子は撮影した動画、写真、テレビ、新聞、広報誌、関連団体のホームページ、SNS 等に公開されることがあります。あらかじめご了承ください。 ●イベント開催中の事故・傷病に対しては、応急処置に限り対応します。疾病やその他事故への補償は、主催者に故意または重大な瑕疵がある場合を除き、主催者側が加入した傷害保険の範囲内となります。 ●臨時駐車場の台数には限りがあります。臨時バスや公共交通機関もあわせてご利用ください。 ●応募内容が条件に満たない場合はご連絡、または参加をお断りさせていただく場合がございます。 ●不可抗力により中止する場合を除き、払い戻し等はいたしません。

参加特典

トレイルウォークの
ロゴ入り!
オリジナル
リストバンド

完歩特典

- 1 ポケモンがデザインされた「オリジナル完歩証」
- 2 ピカチュウとのグリーティング (抽選に当選した方のみ)
記念撮影を希望される方はお申込時にアンケートへの回答が必要です。詳細は公式ホームページをご覧ください。



ピカチュウ



公式ホームページ

申し込みは
こちらから!

締切

6月8日

※応募多数の場合は抽選 ※長距離・短距離の同時申し込みはできません

主催 環境省、みちのく潮風トレイルウォーク実行委員会
後援 復興庁、観光庁、みちのく潮風トレイル関係自治体協議会、青森県、八戸市、三陸ジオパーク推進協議会、デーリー東北新聞社、岩手日報社、河北新報社、福島民友新聞社、報知新聞社、読売新聞社、青森放送、テレビ岩手、宮城テレビ放送、福島中央テレビ、日本テレビ放送網

特別協賛 アシックス商事 JAPAN AIRLINES

協賛 JTB、東北電力、日本製紙、アットマーク、トヨタレンタリース青森、西浦水道建設工業、Honda Cars 青森東

応援 青い森信用金庫、赤間印刷工業、味の加久の屋、SGグループ、紺野建設、サウンドクリエイト、南部電機、野原、八食センター、VISITはちのへ、マエバタ、みちのくコカ・コーラボトリング、みちのく庭園、みちのくリース、ユニバース、吉田工機、リコージャパン青森支社

特別協力 株式会社ポケモン、JR東日本

協力 認定特定非営利活動法人みちのくトレイルクラブ、5 アールビーズ、種差海岸インフォメーションセンター

お問い合わせ 実行委員会事務局 017-752-8321 (平日10:00~16:00受付)

Supported by ポケモン ローカルActs

©2025 Pokémon.
©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

令和 6 年度インバウンドに関する事業実績について

1. 事業の目的

外国人観光客の受入れを通じて地域経済の活性化につなげることを目的に、重点市場に向けた戦略的プロモーションの展開、および受入体制の整備を一体的に推進し、持続可能な観光地域づくりの基盤構築を図るもの。

2. 重点市場

- ① 東アジア（青森空港を含む東北地方の航空ネットワークの優位性（直行便）を活かし、再訪意向の高いリピーター層の獲得）
- ② 欧米豪（「みちのく潮風トレイル」など、自然資源やロングトレイル文化に高い関心を持つ旅行者層への訴求）

3. 八戸圏域のインバウンドの状況 ※令和 6 年度はちのへエリア宿泊実績調査（実施主体：VISIT はちのへ）より

外国人延べ宿泊者数：26,042 人泊（前年度比 105%／全体に占める割合：3%）

上位 3 カ国：①アメリカ（5,527 人泊/前年度比 126%）

②台湾（4,738 人泊/119%）

③中国（4,477 人泊/145%）

4. 事業内容

(1) 重点市場への訴求

取組内容	主な実績
①英語運用の公式 SNS アカウントを通じた情報発信（Facebook、Instagram）	・年間投稿件数：50 件 ・フォロワー：Instagram 2,580、Facebook 2,590（3/31 時点）
②SNS 広告の配信 （配信エリア：欧米豪、東アジア、東南アジア）	・配信内容：朝市、種差海岸、八戸三社大祭、八戸えんぶり ・配信期間：82 日間／リーチ：708,603
③映像コンテンツを活用した米国向けの情報発信 （総務省「映像コンテンツを活用した地域情報発信」実証事業） 【連携事業者：青森朝日放送㈱】	・内容：みちのく潮風トレイル、館鼻岸壁朝市、横丁等 ・米国の「Discovery Channel US」で 15 回放送、「Travel Channel US」で 21 回放送（12 月 15 日～）

(2) 台湾市場を中心とした訪日旅行の促進

取組内容	主な実績
①台湾における現地レップ（代理人）の配置	・ 依頼先：向日遊顧問有限公司 ・ 現地の旅行会社への訪問営業件数：年間 72 件 ・ 台湾国内での旅行博対応、通訳支援、インフルエンサー招請など、当団体の活動をサポート
②台湾での旅行博「日本東北遊楽日」への PR ブースの出展 (12 月 7 日～8 日/主催：東北観光推進機構)	・ 期間中の来場者数：95,765 人 ・ ブース内での観光動画の放映、観光パンフレットの配布 ・ 来場者アンケート実施：回答件数 517 件

(3) 三沢米軍基地関係者への訴求

取組内容	主な実績
①基地内施設（福利厚生施設 20 カ所）でのデジタルサイネージ広告の配信	・ 配信期間：約 60 日間 ・ 配信内容：八戸三社大祭、八戸えんぶり（各 30 日間） ・ 表示回数：9,000～10,000 回/月（20 カ所合計）
②地域事業者との連携によるツアー造成（連携事業者：合同会社南部どき、(株)八戸酒造、米軍三沢基地 35 支援中隊三沢インフォメーションチケット&トラベル（ITT））	・ 八戸酒造での酒蔵見学とミニ烏帽子製作体験を組み合わせたツアーの造成・実施（2 月 22 日） ・ ツアー参加者：24 名



台湾・東北遊楽日（VISIT ブース）の様子



三沢基地内のデジタルサイネージ
(三社大祭)



八戸酒造でのミニ烏帽子制作体験の様子

(4) 他団体と連携したインフルエンサー招請による情報発信

取組内容	主な実績
①欧米インフルエンサー招請（6月9日） 【連携先：東北観光推進機関】	・招請者：カナダ・チリ在住のインフルエンサー 2 名 ・訪問先：みちのく潮風トレイル、八食センター
②香港インフルエンサー招請（8月8日） 【連携先：青森県】	・招請者：香港で活動する女性タレント（日本人）1 名 ・訪問先：種差海岸、蕪嶋神社、八食センター、横丁
③台湾 Youtuber 等招請（10月10日～14日） 【連携先：三陸国際芸術推進委員会】	・招請者：台湾旅行会社、台湾文化 Youtuber（日本人）6 名 ・訪問先：三陸国際芸術祭、酒蔵見学、是川縄文館、櫛引八幡宮、種差海岸等
④台湾インフルエンサー招請（12月21日～23日） 【VISIT はちのへ単独実施】	・招請者：台湾在住のインフルエンサー 2 名 ・訪問先：館鼻岸壁朝市、八戸市魚菜小売市場、八戸酒造、是川縄文館、櫛引八幡宮、田子町、五戸町 等
⑤台湾インフルエンサー招請（2月17日～18日） 【連携先：十和田奥入瀬観光機構】	・招請者：台湾在住のインフルエンサー 2 名 ・訪問先：お庭えんぶり、八食センター、八戸ブイベース等



6月・欧米インフルエンサー招請時の様子



12月・台湾インフルエンサー招請時の様子



2月・台湾インフルエンサー招請時の様子